

当院の2022年成績

(2023. 1. 27発行)

当院の2022年の体外受精の成績

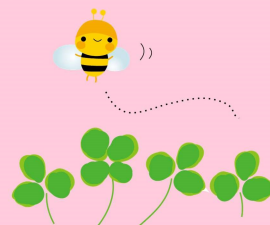
採卵周期数	321周期	採卵した人は233人。のべ321周期。
施行した人の年齢	23～49歳	平均37.0歳
採取できた卵子数	3333個	平均10.4個(1個～42個)
受精した卵子数	1729個	平均5.7個
移植も凍結もできず	57/321	17.8%(平均年齢39.1歳)



日本産科婦人科学会の集計では、2020年の採卵総周期数(顕微授精なども含む)は231,368周期でした。

当院の2022年の新鮮胚移植の成績

胚移植数	51個	新鮮胚移植した人は36人。のべ40周期。
妊娠率	32.5%	平均1.3個(1～2個) (13/40)
分割胚移植(平均41.1歳)	25.0%	(6/24)
胚盤胞移植(平均38.2歳)	40.0%	(6/15)
二段階胚移植(平均39.0歳)	100.0%	(1/1)
妊娠した人の年齢	28～42歳	平均37.5歳



日本産科婦人科学会の集計では、2020年の新鮮胚移植あたりの妊娠率は20.7%、単一胚移植率は81.6%(当院では72.5%)でした。当院では、融解胚移植の方が妊娠し易いと考えられるケースにおいて、新鮮胚移植は施行していません。

当院の2022年の融解胚移植の成績

施行した人の年齢	23～49歳	平均36.9歳
胚移植数	607個	平均1.2個
妊娠率	39.0%	(200/513)
分割胚移植(平均40.9歳)	16.7%	12/72 平均1.3個
胚盤胞移植(平均35.7歳)	43.0%	175/407 平均1.1個
二段階胚移植(平均39.9歳)	38.2%	(13/34)
妊娠した人の年齢	23～44歳	平均35.2歳



2020年、日本産科婦人科学会の集計による凍結胚を用いた治療周期数は214,990周期、融解胚移植あたりの妊娠率は全国平均で36.0%、単一胚移植率は85.1%(当院では83.2%)でした。(分割胚移植は基本的に胚盤胞に至らなかった、あるいは至りそうにないケースでおすすめております。その為、平均年齢は高く妊娠率は低いのですが、胚盤胞に至らない症例でもある程度妊娠できるという多少のメリットはあると考えております。)

当院の2022年の人工授精の成績

施行数	366件(平均34.5歳、25～48歳)	人工授精した人は198人。
妊娠した人	35人(平均32.5歳、27～40歳)	
妊娠率	施行あたり9.6%(患者様あたり17.7%)	

人工授精の妊娠率は一般には5～10%といわれています。

